
関係団体調査(アンケート調査)結果

	取組・課題	今後の展望・必要な支援
スポーツ競技団体 (財団賛助会員)	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定種目の普及振興や技術向上、区民の健康増進、会員間の親睦 ● 「親子」「高齢者」「一般成人」など対象を限定した活動や、対象に応じて参加しやすい形態での実施 ● クラブ・保健センター・学校等と体験会・イベント等の連携実施・志向 ● 高齢化・競技人口の減少、利用施設・環境の不足が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブサイト構築や広報などDX推進支援が必要 ● 指導者の確保・育成が課題 ● 連携を促進・継続する体制・支援が必要
総合型スポーツ・文化クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定種目の普及振興や技術向上、区民の健康増進、会員間の親睦 ● ターゲットに合わせた、内容や実施曜日・時間帯・場所に工夫 ● 運営スタッフ確保、学校内活動場所の確保、障害者の日常的な参画、地域イベントの参加の促進・把握、HP制作/SNS発信などの人材不足、運営メンバーの確保、新規人材の募集、学校施設の活用に係る調整が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報・PRに係る支援が必要 ● ボランティアの有償化、通信費などの実費の支援が必要 ● 運営スタッフ有償化に向けた取組みや専門的知識を持つ人材の育成、有料教室開催による資金調達の支援が必要 ● 連携のコーディネート、事例の紹介の支援が必要

	取組・課題	今後の展望・必要な支援
スポーツ推進委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ● 普段やらないようなニュースポーツを取り入れたりしている ● 障がい者スポーツ指導員の資格取得などでの障害者スポーツの普及 ● 特に場所の確保が問題で企画した事業がすぐに実施できない ● 毎年委嘱更新時期の委員の人材の確保が課題 ● 企画した事業に必要な広さの場所の確保ができない ● 講師を招聘するにあたりその費用の捻出ができない ● 助成金や補助金の申請方法や申請先が不明 ● 学校へのニュースポーツ実施の取組みなどで教育員会との連携が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の分野と連携した事業の取組みのサポート(脂肪燃焼講座等) ● 生涯スポーツセミナーの区報・チラシ以外のPR方法 ● 連携体制の充実

①公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団賛助会員

①活動概要・組織体制

- 特定種目の普及振興や技術向上、区民の健康増進、会員間の親睦

②スポーツの普及・振興等の取組み

- 「親子」「高齢者」「一般成人」など対象を限定した活動や、対象に応じて参加しやすい形態での実施
- 高齢化・競技人口の減少、利用施設・環境の不足が課題
- ウェブサイト構築や広報などDX推進支援が必要

③担い手の確保・育成、施設利活用資金調達取組み

- 指導者の確保・育成が課題

④関係団体との連携

- クラブ・保健センター・学校等と体験会・イベント等の連携実施・志向
- 連携を促進・継続する体制・支援が必要

②総合型地域スポーツ・文化クラブ

①活動概要・組織体制

- スポーツ振興、会員間の親睦、健康増進、青少年育成

②スポーツの普及・振興等の取り組み

- 成人、高齢者、女性などのターゲットに合わせて、プログラム内容や実施曜日・時間帯・場所に工夫
- 運営スタッフの確保、学校内活動場所の確保、障害者の日常的な参画が課題
- 自主的な地域イベントの参加に委ねているため促進・把握が難しい
- HP制作/SNS発信などの人材が不足している
- 広報・PRに係る支援が必要

③担い手の確保・育成、施設利活用資金調達の取り組み

- 運営メンバーの確保、新規人材の募集が課題
- 学校施設の活用に係る調整が課題
- ボランティアの有償化、通信費などの実費の支援が必要
- 運営スタッフ有償化に向けた取り組みや専門的知識を持つ人材の育成、有料教室開催による資金調達の支援が必要

④関係団体との連携

- 学校との連携体制の構築・継続
- 技術的指導・地域イベントでの連携
- 連携のコーディネート、事例の紹介の支援が必要

③スポーツ推進委員協議会

①活動概要・組織体制

- 世田谷区の生涯スポーツ・レクリエーションの振興に寄与
- 協議会会費として年間3万円
- 実施種目:キンボール、ドッチビー、タグラグビー、ボッチャ、スポーツ鬼ごっこ、その他
- 予算・決算93万円

②スポーツの普及・振興等の取組み

- 普段やらないようなニュースポーツを取り入れたりしている
- 障がい者スポーツ指導員の資格取得などでの障害者スポーツの普及
- 特に場所の確保が問題で企画した事業がすぐに実施できない
- 企画した事業に必要な広さの場所の確保ができない
- 講師を招聘するにあたりその費用の捻出ができない
- 世田谷区・財団のHPを利用できないか検討中
- 他の分野と連携した事業の取り組みのサポート(脂肪燃焼講座等)を要望
- 生涯スポーツセミナーの区報・チラシ以外のPR方法の支援

③担い手の確保・育成、施設利活用資金調達の取組み

- 毎年委嘱更新時期の委員の人材の確保が課題
- 企画した事業を実施するための場所の確保が課題
- 助成金や補助金の申請方法や申請先が不明

④関係団体との連携

- 学校へのニュースポーツ実施の取組みなどで教育委員会との連携が課題
- 連携体制の充実に取り組みたい

(1)公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団賛助会員

調査概要

調査対象	公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団の賛助会員
調査目的	スポーツ関係団体の実態や課題等を確認させていただき、次期スポーツ推進計画策定の参考とする。
調査内容	活動理念・目的、スポーツの普及・振興の取組み、担い手の確保等(計23問)
回答方法	ウェブ回答フォーム(Googleフォーム)
回答期間	令和4年12月13日(火)～令和5年1月27日(金)
回答結果	31団体/49団体(回答率63.3%)
質問事項	<p>(1)活動概要・組織体制について</p> <ul style="list-style-type: none">①活動理念・目的②会員数③活動予算・会費・収入額 <p>(2)スポーツの普及・振興等の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">①スポーツの普及・振興の取組み・工夫②スポーツの普及・振興の課題③試合や大会の企画等に関する取組みや課題④広報・PRに関する取組みや課題⑤スポーツの普及・振興等のために新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援 <p>(3)担い手の確保・育成、施設利活用、資金調達の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">①人材確保・育成の取組みや課題②施設の利活用や整備・運営の取組みや課題③資金調達の取組みや課題④担い手の確保・育成、施設利活用、資金調達のために新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援 <p>(4)関係団体等との連携について</p> <ul style="list-style-type: none">①区、学校、スポーツ団体、区民団体等との連携の取組みや課題②民間企業・スポンサー、プロチーム等との連携の取組みや課題③関係団体等の連携のために新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援 <p>(5)部活動の地域移行について</p> <ul style="list-style-type: none">①受け入れ可能な種目・すでに受け入れている種目等②部活動の地域移行に関する課題や、行政に求める支援 <p>(6)区・財団に対するご質問・ご要望</p>

(1)公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団賛助会員

①活動概要・組織体制

①活動理念・目的

- 特定種目の普及振興や技術向上等に言及している団体、区民の健康増進に言及している団体、会員間の親睦を図ることに言及している団体があった

②会員数

- 会員数は、最も多いところは約4,700人、最も少ないところは15人。平均値は788人、中央値は179人。
- 障害者の会員数については31団体から回答があり、回答団体の約半数にあたる17団体が「0人」、9団体が不明と回答しており、「45人」「30人」「10人」「9人」「3人」としている団体が1団体ずつであった。

③会費・活動予算・収入額

- 個人・チーム単位で月会費や年会費、属性別、入会金徴収、大会参加費徴収
- 予算額は数十万～数千万。コロナ禍で例年より規模が縮小している団体も。
- 助成金や寄付金等の収入がある団体は6割程度であった。

(1)公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団賛助会員

②スポーツの普及・振興等の取組み

①スポーツの普及・振興の取組み・工夫

- 「親子」「高齢者」「一般成人」などと対象を限定している団体も
- 対象者が参加しやすい時間帯・季節での教室開催、特定の層には使用する道具や参加レギュレーション、敗者復活などで試合回数を増やす、運営サポートに学生を巻き込むことでOBOGが参加しやすく
- 障害者については、健常者と同じルールで大会に参加する団体や、特定のサークルを設けて活動

②スポーツの普及・振興の課題

- 最も多いのは「活動場所・施設の確保が難しい」が22団体(71.0%)、「取組実施のために必要な人員(スタッフ・指導者)が不足している」で18団体(58.1%)、および高齢化や競技人口の減少、活動人数に対するグラウンド面積の不足や抽選予約の困難さにかかる意見

③試合や大会の企画等に関する取組みや課題

- 会場の面積や設備・費用、コロナ禍における宿泊を伴う活動や接触競技実施の困難さ、核となる人材の不足

④広報・PRに関する取組みや課題

- ホームページやSNSなどのウェブ媒体の活用、区報などの紙媒体の活用

⑤新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援

- 他団体との連携が最も多かった(保健センター、社会福祉協議会、区内の盲人学校学級や小学校、健康増進の教室)
- ジュニアの育成が、2団体から挙げられた。
- 必要な行政の支援は、ウェブサイト構築や広報支援などDX推進

(1)公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団賛助会員

③担い手の確保・育成、施設利活用、資金調達の取組み

①人材確保・育成の取組みや課題

- スポーツ振興を支える人材確保・育成の取組みや課題としては、指導者の確保・育成が最も多く、次に運営者の確保・育成
- その他に審判員の確保・育成、IT技術者の人材確保

②施設の利活用や整備・運営の取組みや課題

- 施設の不足、施設の予約方法の見直し、施設の利用時間・使用料金の見直し

③資金調達の取組みや課題

- 事業資金が不足。助成金活用を行っている。

④新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援

- 指導者などの人材育成支援、施設整備の支援

(1)公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団賛助会員

④関係団体等との連携

①区、学校、スポーツ団体、
区民団体等との連携の取
組みや課題

- イベント、練習会、教室や学校・クラブとの連携を実施・志向

②民間企業・スポンサー、
プロチーム等との連携の
取り組みや課題

- 連携に向けた資金・会場の確保が必要
- 大学等と連携して協賛を得るなど

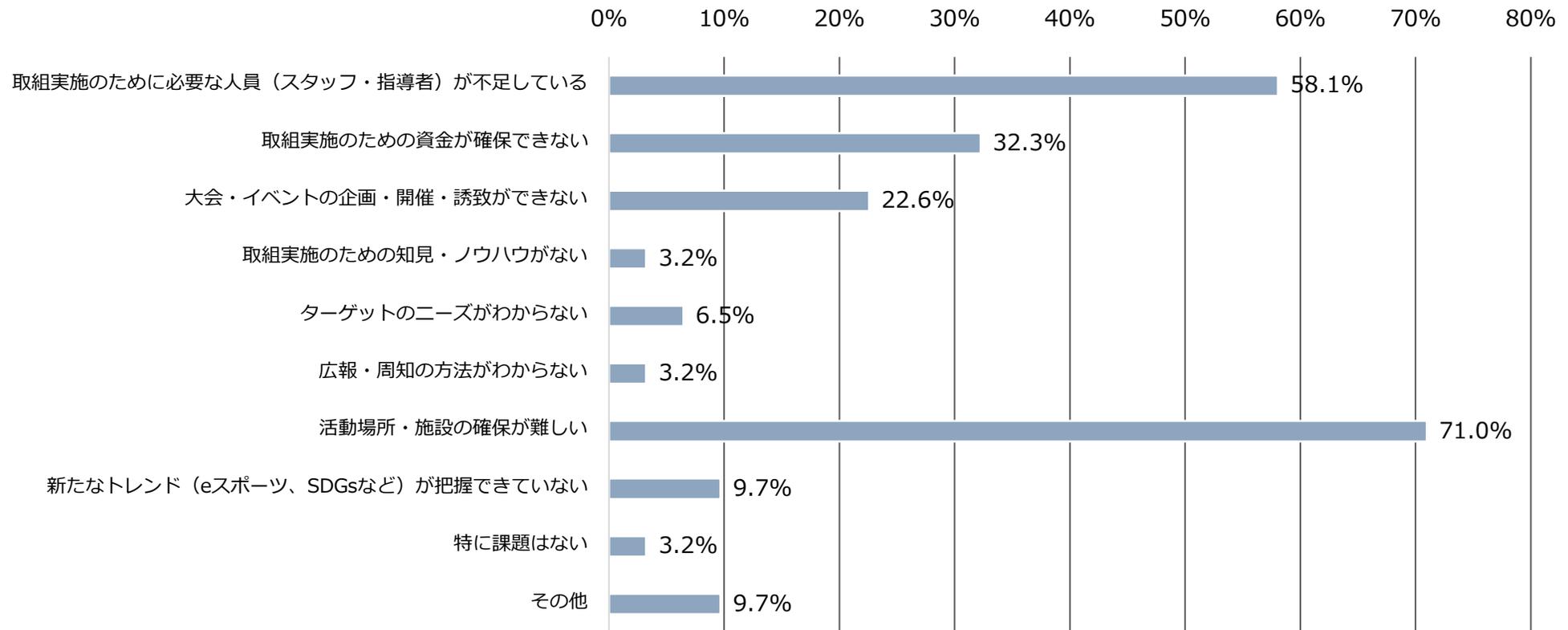
③新たに取り組んでみたい
こと、必要な行政の支
援

- 連携の継続体制、区の主導による連携促進

(1)公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団賛助会員

参考:スポーツの普及・振興の課題

<スポーツの普及・振興の課題(複数回答可)(n=31)>



(2)総合型地域スポーツ・文化クラブ

調査概要

調査対象	世田谷区内の総合型地域スポーツ・文化クラブ
調査目的	スポーツ関係団体の実態や課題等を確認させていただき、次期スポーツ推進計画策定の参考とする。
調査内容	活動理念・目的、スポーツの普及・振興の取組み、担い手の確保等(計24問)
回答方法	ウェブ回答フォーム(Googleフォーム)
回答期間	令和4年12月13日(火)～令和5年1月20日(金)
回答結果	5団体／8団体(回答率62.5%)
質問事項	<p>(1)活動概要・組織体制について</p> <ul style="list-style-type: none">①活動理念・目的②会員数・実施している種目③活動予算・会費・収入額 <p>(2)スポーツの普及・振興等の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">①スポーツの普及・振興の取組み・工夫②スポーツの普及・振興の課題③試合や大会の企画等に関する取組みや課題④広報・PRに関する取組みや課題⑤スポーツの普及・振興等のために新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援 <p>(3)担い手の確保・育成、施設利活用、資金調達の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">①人材確保・育成の取組みや課題②施設の利活用や整備・運営の取組みや課題③資金調達の取組みや課題④担い手の確保・育成、施設利活用、資金調達のために新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援 <p>(4)関係団体等との連携について</p> <ul style="list-style-type: none">①区、学校、スポーツ団体、区民団体等との連携の取組みや課題②民間企業・スポンサー、プロチーム等との連携の取組みや課題③関係団体等の連携のために新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援 <p>(5)部活動の地域移行について</p> <ul style="list-style-type: none">①受け入れ可能な種目・すでに受け入れている種目等②部活動の地域移行に関する課題や、行政に求める支援 <p>(6)区・財団に対するご質問・ご要望</p>

(2) 総合型地域スポーツ・文化クラブ

① 活動概要・組織体制

① 活動理念・目的

- 全団体スポーツ振興、会員間の親睦を図ることに言及
- その他に区民の健康増進、青少年育成

② 会員数

- いずれの団体も300名～600名程度の規模
- 障害者の会員数については、会員全体の2%前後かそれ未満

③ 会費・活動予算・収入額

- 年会費が数千円、種目別に会費を徴収
- 活動予算額は、数十万円から100万円超、区や都の補助金

(2) 総合型地域スポーツ・文化クラブ

② スポーツの普及・振興等の取組み

① スポーツの普及・振興の取組み・工夫	● 成人、高齢者、女性などのターゲットに合わせて、プログラム内容や実施曜日・時間帯・場所に工夫
② スポーツの普及・振興の課題	● 運営スタッフの確保、学校内活動場所の確保、障害者の日常的な参画
③ 試合や大会の企画等に関する取組みや課題	● 自主的な地域イベントの参加に委ねているため促進・把握が難しい
④ 広報・PRに関する取組みや課題	● HP制作/SNS発信などの人材が不足している
⑤ 新たに取組んでみたいこと、必要な行政の支援	● 広報・PRに係る支援

(2) 総合型地域スポーツ・文化クラブ

③ 担い手の確保・育成、施設利活用、資金調達の取組み

① 人材確保・育成の取組みや課題

- 運営メンバーの確保、新規人材の募集

② 施設の利活用や整備・運営の取組みや課題

- 学校施設の活用に係る調整

③ 資金調達の取組みや課題

- ボランティアの有償化、通信費などの実費

④ 新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援

- 運営スタッフ有償化に向けた取組みや専門的知識を持つ人材の育成、有料教室開催による資金調達

(2) 総合型地域スポーツ・文化クラブ

④ 関係団体等との連携

① 区、学校、スポーツ団体、
区民団体等との連携の取
組みや課題

● 学校との連携体制の構築・継続

② 民間企業・スポンサー、
プロチーム等との連携の
取り組みや課題

● 技術的指導・地域イベントでの連携

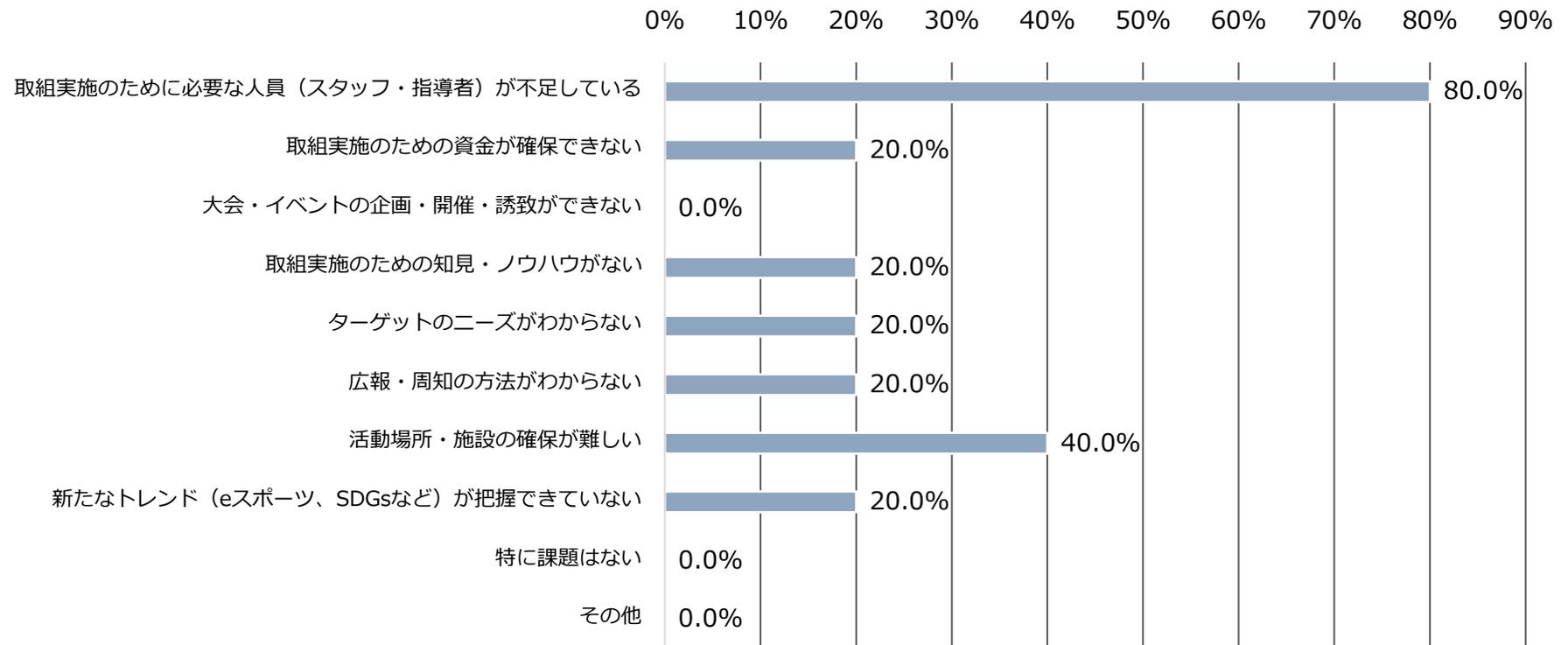
③ 新たに取り組んでみた
いこと、必要な行政の支
援

● 連携のコーディネート、事例の紹介

(2) 総合型地域スポーツ・文化クラブ

参考: スポーツの普及・振興の課題

<スポーツの普及・振興の課題(複数回答可)(n=5)>



(3)スポーツ推進委員協議会

調査概要

調査対象	スポーツ推進委員協議会
調査目的	スポーツ関係団体の実態や課題等を確認させていただき、次期スポーツ推進計画策定の参考とする。
調査内容	活動理念・目的、スポーツの普及・振興の取組み、担い手の確保等(計24問)
回答方法	ウェブ回答フォーム(Googleフォーム)
回答期間	令和4年12月20日(火)～令和5年1月27日(金)
回答結果	協議会より回答
質問事項	<p>(1)活動概要・組織体制について</p> <ul style="list-style-type: none">①活動理念・目的②会費・委員年代構成・実施している種目③活動予算・収入額 <p>(2)スポーツの普及・振興等の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">①スポーツの普及・振興の取組み・工夫②スポーツの普及・振興の課題③試合や大会の企画等に関する取組みや課題④広報・PRに関する取組みや課題⑤スポーツの普及・振興等のために新たに取組んでみたいこと、必要な行政の支援 <p>(3)担い手の確保・育成、施設利活用、資金調達の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">①人材確保・育成の取組みや課題②施設の利活用や整備・運営の取組みや課題③資金調達の取組みや課題④担い手の確保・育成、施設利活用、資金調達のために新たに取組んでみたいこと、必要な行政の支援 <p>(4)関係団体等との連携について</p> <ul style="list-style-type: none">①区、学校、スポーツ団体、区民団体等との連携の取組みや課題②民間企業・スポンサー、プロチーム等との連携の取組みや課題③関係団体等の連携のために新たに取組んでみたいこと、必要な行政の支援 <p>(5)部活動の地域移行について</p> <ul style="list-style-type: none">①受け入れ可能な種目・すでに受け入れている種目等②部活動の地域移行に関する課題や、行政に求める支援 <p>(6)区・財団に対するご質問・ご要望</p>

(3)スポーツ推進委員協議会

①活動概要・組織体制

①活動理念・目的	●世田谷区の生涯スポーツ・レクリエーションの振興に寄与する
②委員年代構成	●①30歳以下:1名、②31～40歳:3名、③41～50歳:4名、④51～60歳:21名、⑤61歳以上:19名
③実施種目	●キンボール、ドッチビー、タグラグビー、ボッチャ、スポーツ鬼ごっこ、その他
④会費・活動予算・収入額	●予算・決算93万円

(3)スポーツ推進委員協議会

②スポーツの普及・振興等の取組み

①スポーツの普及・振興の取組み・工夫	<ul style="list-style-type: none">● 普段やらないようなニュースポーツを取り入れたりしている● 障がい者スポーツ指導員の資格取得などでの障害者スポーツの普及
②スポーツの普及・振興の課題	<ul style="list-style-type: none">● 特に場所の確保が問題で企画した事業がすぐに実施できない
③試合や大会の企画等に関する取組みや課題	<ul style="list-style-type: none">● 企画した事業に必要な広さの場所の確保ができない● 講師を招聘するにあたりその費用の捻出ができない
④広報・PRに関する取組みや課題	<ul style="list-style-type: none">● 世田谷区・財団のHPを利用できないか検討中
⑤新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援	<ul style="list-style-type: none">● 行政には脂肪燃焼講座のように他の分野と連携した事業の取り組みのサポートをお願いしたい。● 生涯スポーツセミナーの実施に当たりその広報・PRに区報・チラシ以外のPR方法

(3)スポーツ推進委員協議会

③担い手の確保・育成、施設利活用、資金調達の取組み

①人材確保・育成の取組みや課題

- 毎年委嘱更新時期の委員の人材の確保が課題

②施設の利活用や整備・運営の取組みや課題

- 企画した事業を実施するための場所の確保が課題

③資金調達の取組みや課題

- 助成金や補助金の申請方法や申請先が不明

④新たに取り組んでみたいこと、必要な行政の支援

- とにかく場所の確保が問題

(3)スポーツ推進委員協議会

④関係団体等との連携

①区、学校、スポーツ団体、
区民団体等との連携の取
組みや課題

- 学校へのニュースポーツ実施の取組みなどで教育員会との連携が出来ていない。

②民間企業・スポンサー、
プロチーム等との連携の
取り組みや課題

- 特にない

③新たに取り組んでみたい
こと、必要な行政の支
援

- 連携体制の充実